

ている。リフォーム工事の規模に応じてポイントを付与するもので、エコ改修やバリアフリー、住宅セーフティネットの工事内容による加算制度も設ける。いずれも代表的なニーズに沿うものでリフォーム市場の拡大に弾みを付け、雇用創出や住宅の質の向上が期待される。市と建設業界や商工会が連携し、当該制度にむらさき商品券事業を活用した三鷹オリジナルの制度導入について所見を伺う。

**都市整備部長** 指摘のとお

### 市内の放射線量について 十分な情報提供を検討せよ

公明党 川原 純子 議員



**議員** 本市においても独自の放射線量測定の実施が表明された。東京都が都内100カ所で実施する測定との調整が必要だ。測定場所や測定頻度の検討状況を伺う。

**市長** 東京都との調整によって測定場所等を検討し、広報やホームページ等への情報掲載を通じて市民の不安解消に努めていきたい。

**議員** 3月23日、東京都より、三鷹市の水道水の一部を供給する金町浄水場の浄



7月5日に開始した市内の空間放射線量測定

な掲載に努めていきたい。その他の質問 防災にお

### 保育サービスの充実と 長期的視点で取り組み

民主党 長島 薫 議員



**議員** 女性の就業の確保には保育サービスの充実が大きな鍵となる。働き盛りの子育て世代の定住促進や在宅子育て支援等のためにも多様な保育サービスが必要だ。本市の保育所の待機児童数は本年度留人で極めて深刻な状況だ。市は次世代育成支援行動計画(後期計画)に基づき定員増等に取組んでいるが、待機児童数は予測を上回っており、特に0〜2歳児の保育需要が高い。解消策を示せ。

**市長** 施設整備の迅速な推進と、認証保育所や家庭的保育事業の制度の一層の活用を図りたい。年齢別定員の割り振りの弾力化や、国等への子育て環境整備の働きかけも必要だと考える。

**議員** 待機児童解消の目標達成時期はいつになるか。

**市長** 企業等による育児休業の適切な保障を国・都に

### 節電教育の充実と 危機管理の徹底を

民主党 石原 恒 議員



**議員** 東日本大震災の影響で夏季の電力不足が懸念される中、節電対策の必要性が高まっている。節電の取り組みを強力に推進するに、市民への広報と節電教育の充実が大変重要だ。子どもたちが関心を持って積

る安全対策について/災害時要援護者の対策について

組みよう、他市の事例も参考にして広報を強化せよ。

**市長** 広報やホームページ等を活用して、適切に情報を発信していきたい。

**議員** 災害発生時や計画停電時に備えて、①自宅で使用中の医療機器停止の対策が必要だ②エレベーターの閉じ込めの対策が必要だ。

**市長** ①主治医等への相談の奨励や医師会と連携した支援を行いたい②対処方法の更なる啓発に努めたい。

**議員** 危機管理においては「悲観的に準備して楽観的に行動せよ」と言われている。地域情報化担当部長

### 迫りくる危機に備えて 温かみある自治体経営を

民主党 岩見 大二 議員



**議員** 労働人口の推移が今後の財政運営に影響する。労働人口の流出についての検証が必要だ。見解を伺う。

**市長** 市の総人口は増加傾向だが、生産年齢人口の割合は低下傾向にある。若い世代が結婚・出産後も暮らし続けられるよう、子育て支援や教育施策の更なる充実が必要だと考える。

**議員** 地域ケアネットワークや災害時要援護者支援事業の推進、自主防災組織率の向上に向けた取り組み、住民協議会などの地域組織の連携は地域住民の生命に関わる問題であり、迅速な対応が必要だ。所見を伺う。

**市長** コミュニティ創生の取り組みの中で、自主防災組織率向上に地域ケアや災害時要援護者支援事業の推進を連関させながら、地域

### 原子力発電所事故の影響と市の対策を聞く

日本共産党 栗原 健治 議員



皆様の命が尊ばれ、それぞれが支え合う、ふれあいと温かみのある取り組みを全力で進めていきたい。

**議員** 福島第一原発事故は、三鷹市でも水道水や大気などに影響を及ぼした。事故を受けて原子力発電に対する市長の所見を伺う。

**市長** 国のエネルギー政策の根幹に関わる事項については、国家レベルで広く国民の声を傾け、国全体で議論されるべきものだ。

**議員** 局地的に高い放射線量になる「ホットスポット」が三鷹市に存在する可能性があると考えるか。

**市長** 現時点ではあるともないと断言できない。

**議員** 放射性物質に対する市民の不安を取り除くためには、市が放射線量を調べ、情報を提供することが必要だ。市の姿勢として調べたい。

**市長** 事故の影響については

### 井口特設グラウンド 売却の見直しを強く求める

日本共産党 森 徹 議員



温かみのある取り組みを全力で進めていきたい。

**議員** 福島第一原発事故は、三鷹市でも水道水や大気などに影響を及ぼした。事故を受けて原子力発電に対する市長の所見を伺う。

**市長** 国のエネルギー政策の根幹に関わる事項については、国家レベルで広く国民の声を傾け、国全体で議論されるべきものだ。

**議員** 局地的に高い放射線量になる「ホットスポット」が三鷹市に存在する可能性があると考えるか。

**市長** 現時点ではあるともないと断言できない。

**議員** 放射性物質に対する市民の不安を取り除くためには、市が放射線量を調べ、情報を提供することが必要だ。市の姿勢として調べたい。

**市長** 事故の影響については

**議員** 井口特設グラウンドは、市の中心部西側に位置し、市民のスポーツと健康づくりに欠かせない場所であり、一時避難所にも指定されている。市は、新川防災公園(仮称)の事業推進の財源を捻出するために井口特設グラウンドを売却する方針を示した。市民の理解を得られると思うのか。売却